



JASDAQ

2019年10月23日

各 位

会 社 名 株式会社ウエストホールディングス
代 表 者 代表取締役社長 江 頭 栄 一 郎
(コード番号: 1407 JASDAQ)
問 合 せ 先 取 締 役 椎 葉 栄 次
電話番号 03-5358-5757 (代表)

2019年8月期 決算説明会資料

当社は、本日10月23日、アナリスト・機関投資家向けに2019年8月期決算説明会を開催いたします。
2019年8月期決算概要、今後の見通し等についての説明を予定しており、その資料を添付いたします。

<添付資料>

SDGs+ESG 脱炭素社会の未来に向けて

以 上

SDGs + ESG

脱炭素社会の未来に向けて



ウエストグループ 企業概要

ウエストグループ構成

持株会社



- ・ グループの経営戦略
- ・ グループの管理統括
- ・ グループの財務運営

主要事業子会社



- ・ 住宅用、公共・産業用太陽光発電市場の開拓
- ・ 太陽光発電事業(自社所有の発電所)
- ・ 産業用・メガソーラーの企画・設計・販売・施工
- ・ 省エネ設備の設計・施工
- ・ 省エネ効果の計測、検証に基づく改善提案(エスコ事業)



- ・ スマートグリッド商材のシステムインテグレーション
- ・ 住宅用太陽光発電(みらくる！)



- ・ 太陽光発電所の運用改善(オペレーション)
- ・ 太陽光発電所の保守・管理・監視サービス(メンテナンス)



- ・ 特定規模電気事業
- ・ 電力小売事業
- ・ 電気などのエネルギー商品のコンサルティング業務

会社理念

ウエストグループに働く人は皆、豊かで幸福でなければならない。そのためには常に変化に挑み、無限の可能性を信じ顧客に満足願える仕事を通じて社員の幸福を増進し会社の発展と繁栄を念願するものである。

ウエストグループは、創業以来変わらぬ会社理念を経営の原点として常に変化と創造で、あらたな事業を創り出し続けます。

VISION

「太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーと省エネルギーを推進することで化石燃料に頼らない「脱炭素社会」の実現を目指します」

ウエストグループの特徴

- 1 ESG経営とSDGsの取組みで持続的社会的の実現を目指す**
→本業の再エネ、省エネで社会的課題の解決
- 2 フローとストックの両輪ビジネスモデル展開**
→フロー収益とストック収益の積み上げによる安定拡大経営
- 3 圧倒的な太陽光発電の施工件数・メンテナンス実績**
→累積設置容量は原子力発電所1基相当分
- 4 トータルエネルギーソリューションで地域の中小中堅企業を支援**
→再エネ、省エネ、新電力の組み合わせソリューションで地域企業の収益改善
- 5 金融機関を中心としたアライアンス展開で地域のエネルギーシェアを拡大**
→提携銀行は全国で地銀中心に77行と現在も提携数は増加中

今後も太陽光事業を成長戦略の主軸として積極的に事業展開を図りながら本業のエネルギーソリューションを通じて社会的課題の解決を図りながら、脱炭素社会の実現を目指します。



再生可能エネルギー事業

メガソーラー
販売
(フロービジネス)



メガソーラーの用地、権利取得から発電所の建設、販売。

産業用太陽光
請負
(フロービジネス)



企業の工場倉庫屋根や遊休地への太陽光設備の設置工事の請負を行う。

省エネルギー事業

LED・空調設備
更新サービス
(ストックビジネス)



工場や病院施設の照明、空調を初期費用なしで更新するサービス。

電力事業

電力小売
(ストックビジネス)



工場、オフィス、小規模施設への高圧、低圧電力の販売。

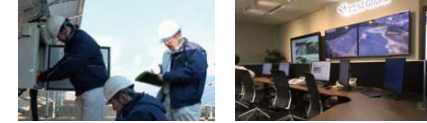
自社売電
(ストックビジネス)



ウエストグループにて発電所を所有するFITを活用した売電事業。

メンテナンス事業

太陽光発電所
保守管理
(ストックビジネス)



当社、他社設置のメガソーラー（特別高圧、高圧）の保守管理。

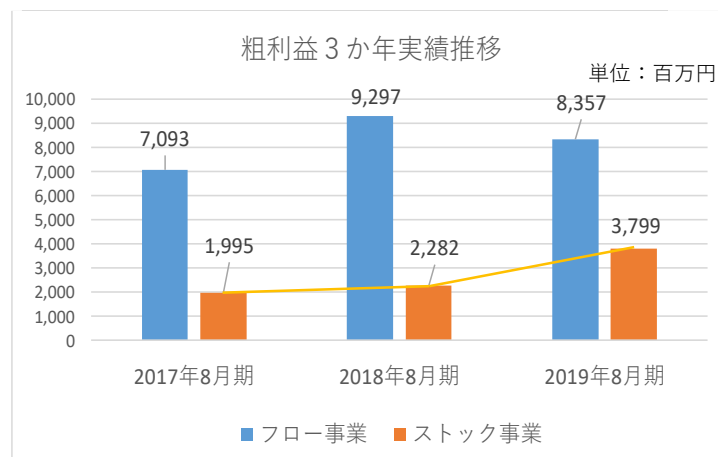
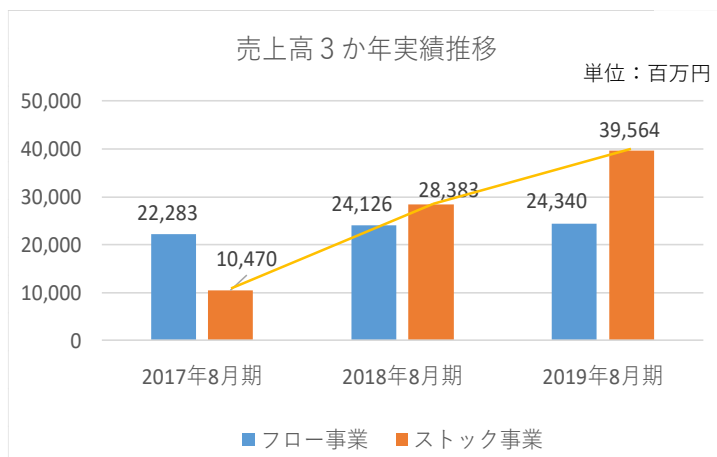
2019年8月期決算概要

2019年8月期 決算概況

(単位：百万円)

	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期		前期比増減率
	実績	実績	当初予想	実績	
ウェストグループ総売上高	32,753	52,509	65,420	63,904	121.7%
再生可能エネルギー事業	22,280	24,130	25,290	24,578	101.9%
省エネルギー事業	689	1,232	1,659	1,641	133.2%
電力小売事業	6,359	23,597	34,616	34,035	144.2%
自社売電事業	2,700	2,760	2,748	2,708	98.1%
メンテナンス事業	722	784	1,106	938	119.6%
その他	1	4	-	2	50.0%
営業利益	2,685	4,974	5,739	5,864	117.9%
(営業利益率)	8.18%	9.47%	8.8%	9.18%	
経常利益	2,323	4,557	5,239	5,425	119.0%
親会社・株主に帰属する当期純利益	1,507	2,667	3,405	3,633	136.2%

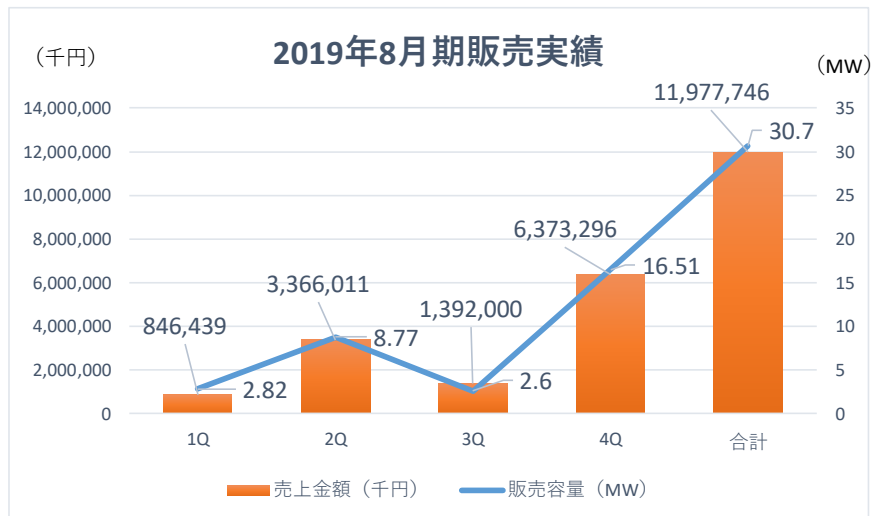
フロー事業とストック事業の3か年実績推移



1. 再生可能エネルギー事業

①メガソーラー販売

- ・メガソーラー財産を期初販売計画にもとづきほぼ計画通り販売
販売メガ件数は、合計17件、販売容量は、合計30.7MW

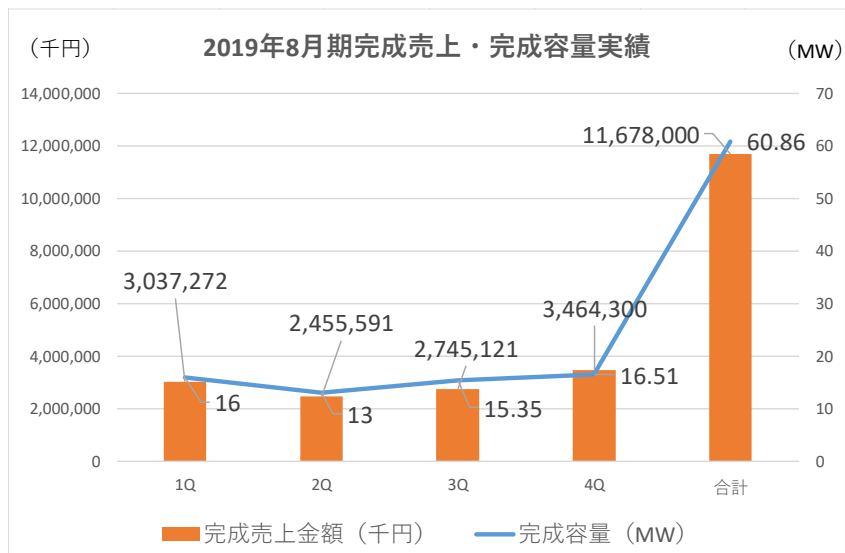


当社販売実績メガ写真一例

- ・ RE100参加企業等、再エネ取得ニーズの高い企業が当社メガソーラーを購入。
A社 グループでの再生可能エネルギー取得目標達成のため
B社 製品供給先の海外企業がRE100を達成しサプライヤーにも取引条件に再エネ100%化の取り組みが課せられた。

②産業用太陽光

・期初計画より若干未達だった。要因としては期初工事請負契約の受注残130億を当期計画に完成させてきたが、一部法令、農転、資金等を理由として未完成となった物件があったため。



当社工事完成写真一例

2. 省エネルギー事業

・ほぼ計画通り達成。サービス開始以降毎年堅調に受注し、分割売上計上額が増加している。

<サービス開始以降の売上高推移>

(単位：百万円)

事業年度	2016.8月期	2017.8月期	2018.8月期	2019.8月期
売上高	112	689	1,232	1,641

3. 電力事業

①小売り事業

- ・ ほぼ期初計画通りに着地。
- ・ 前々期と同様に一般電気事業者からの相対仕入れにより、粗利益率は改善された。
- ・ 販売は、一部のエリアにおいて低圧販売を開始したことや新規提携銀行の増加等により件数増大。

契約件数 2018年8月期末7,543件 → 2019年8月期末11,203件

事業年度	2018年8月期					2019年8月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上 (千円)	3,722,246	5,400,317	5,693,884	8,787,819	23,604,266	8,329,712	9,168,019	7,964,068	8,593,498	34,037,297

②自社売電事業

- ・ 前期末時点の自社保有のメガソーラーは76か所、65MW。
- ・ FITによる売電収入のため、ほぼ期初計画通りに着地。

4. その他

- ・ メンテナンス事業も計画通り。
- ・ タイにおける受注活動も堅調で前期実績で36件1,562百万円の受注を獲得した。

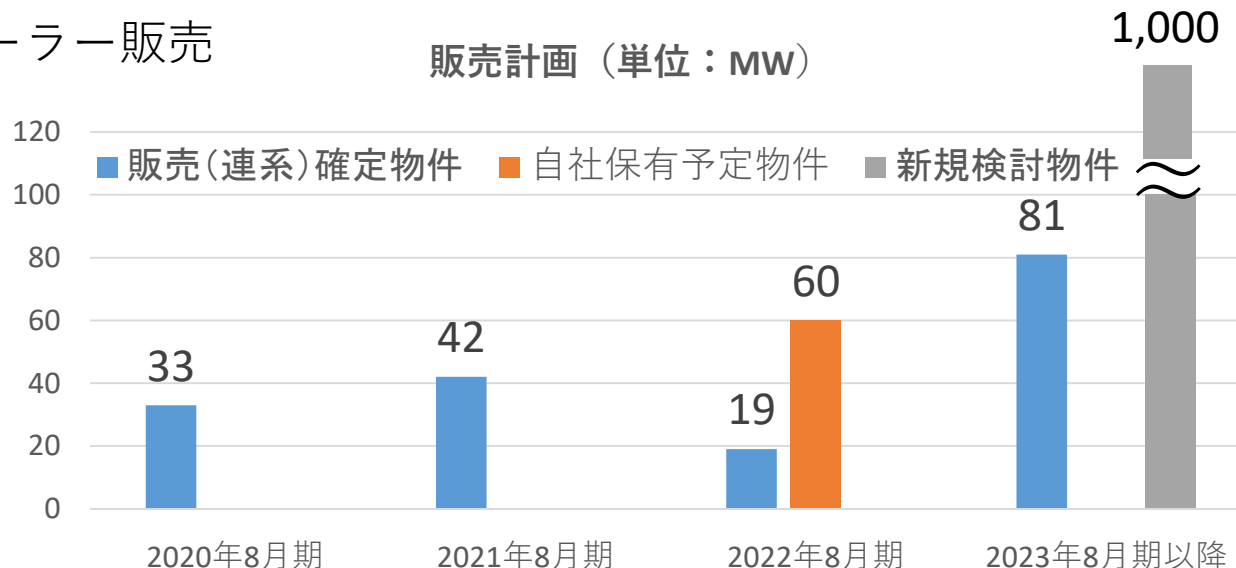
2020年8月期 セグメント見通し

2020年8月期 決算予想

(単位：百万円)

	2019年8月期	2020年8月期	
	実績	予想	前期比増減
ウエストグループ総売上高	63,904	72,845	114.0%
再生可能エネルギー事業	24,578	27,806	113.1%
省エネルギー事業	1,641	1,904	116.0%
電力小売事業	34,035	39,188	115.1%
自社売電事業	2,708	2,711	100.1%
メンテナンス事業	938	1,236	131.8%
その他	2	-	
営業利益	5,864	6,740	114.9%
(営業利益率)	9.2%	9.25%	
経常利益	5,425	6,140	113.2%
親会社・株主に帰属する当期純利益	3,632	3,955	108.9%

メガソーラー販売

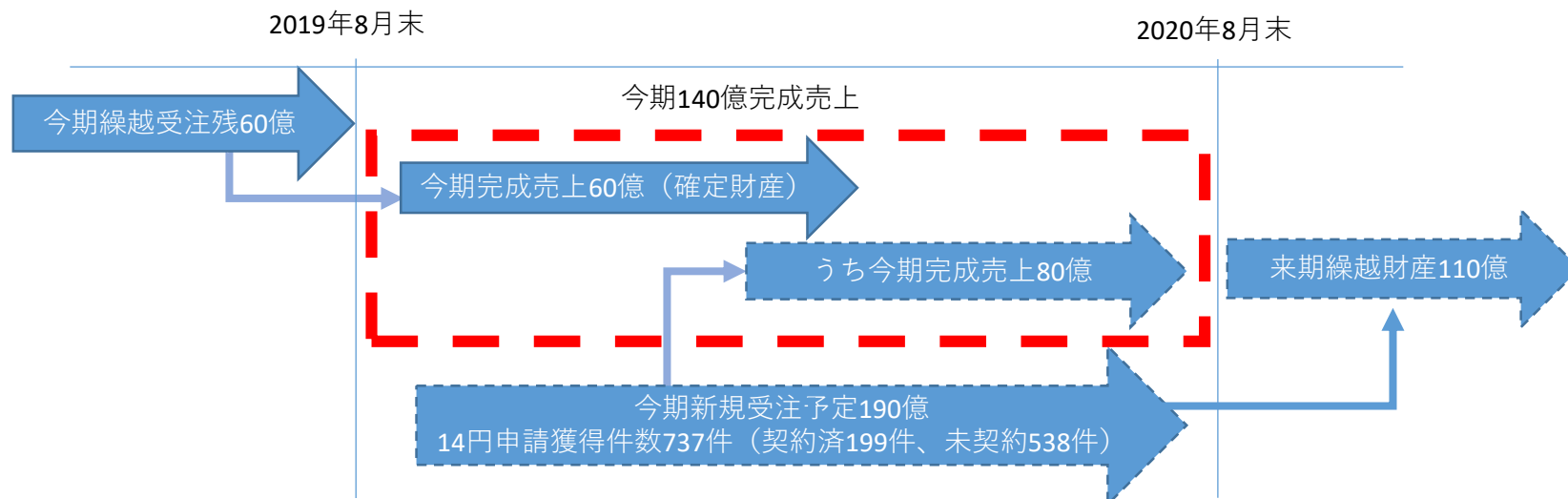


※販売（連系）確定物件とはFIT認定、電力会社との連系契約が完了し連系時期の見通しが立っている確定財産のことであり、向こう3年間で概ね94MW確保。連系時のタイミングにあわせて計画的に販売していく。

※自社保有予定物件（自社で保有しFITで自社売電する予定物件）60MWも含め向こう5年間で200MW以上の保有財産がある。新規検討物件は、現在継続的に持ち込まれている新規権利売り物件であり各個別物件の精査により累計で販売可能となる物件（保有財産）はさらに増えていく予定である。

※メガソーラー販売事業は、当社フロー事業の位置づけであるものの、販売が確定しかつ今後自社売電事業物件として組み入れる予定のものもあり、中期にわたって収益が確保されている事業。

産業用太陽光請負



- ※FIT14円とFIT来季価格での請負工事受注により、当期140億の完成売상을計画する。
- ※自家消費型太陽光については2018年8月期から販売を開始し、徐々に新規契約が増加している状況の中、銀行紹介企業に対するソリューション提案の一環として継続営業していく。

電力小売

- ※既存契約分の解約防止策を取りながら銀行ルートからの紹介による新規受注325MWの積み上げを図る。
- ※受注競争はより厳しくなる環境が想定されるが、相対の仕入れ価格の見直しによる価格競争力と利益率の改善を図るとともに提携銀行に対する積極的な紹介促進キャンペーンを展開していく。

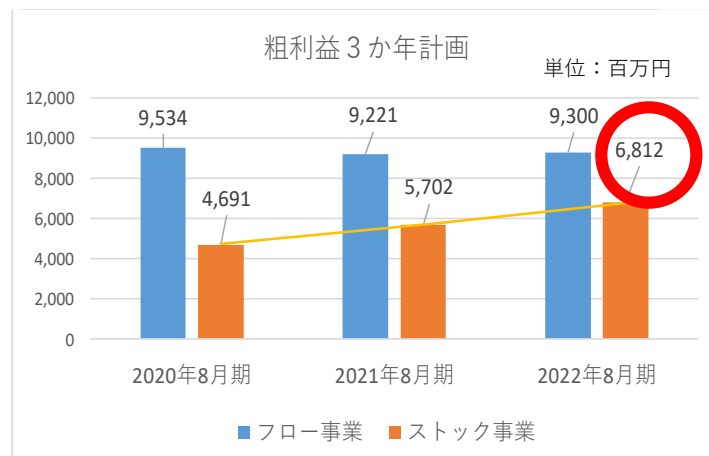
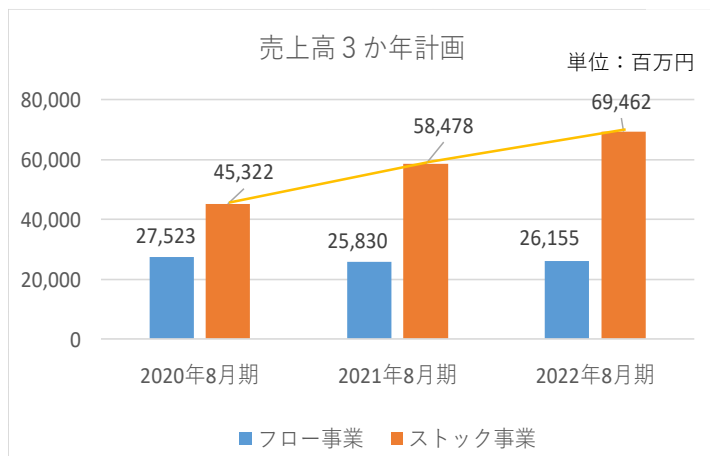
中期展望について

中期展望

(単位：百万円)

	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期
ウエストグループ総売上高	72,845	84,308	95,617
再生可能エネルギー事業	27,806	26,476	27,371
省エネルギー事業	1,904	2,305	2,705
電力小売事業	39,188	51,450	61,288
自社売電事業	2,711	2,748	2,748
メンテナンス事業	1,236	1,329	1,505
その他	-	-	-
営業利益	6,740	7,723	8,912
(営業利益率)	9.25%	9.16%	9.32%
経常利益	6,140	7,123	8,312
親会社・株主に帰属する当期純利益	3,955	4,630	5,403

フロー事業とストック事業の3か年計画



3年目でウエストグループ経費(7,200百万円)を粗利益でカバーできる水準へ

今後の確定ストック収益と投資原価

3か年確定ストック収益（今期以降新規受注分を含めず）

（単位：百万円）

	2019年8月期 （実績）	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期
	売上	売上	売上	売上
省エネ	1,641	1,693	1,687	1,579
自社売電	2,717	2,717	2,717	2,717
メンテナンス	1,198	1,044	1,044	1,044
電力小売	34,016	33,924	33,833	33,741
合計売上	39,572	39,378	39,281	39,081
合計粗利	3,773	4,082	4,074	4,016

※電力小売は一定の解約容量を踏まえて算出

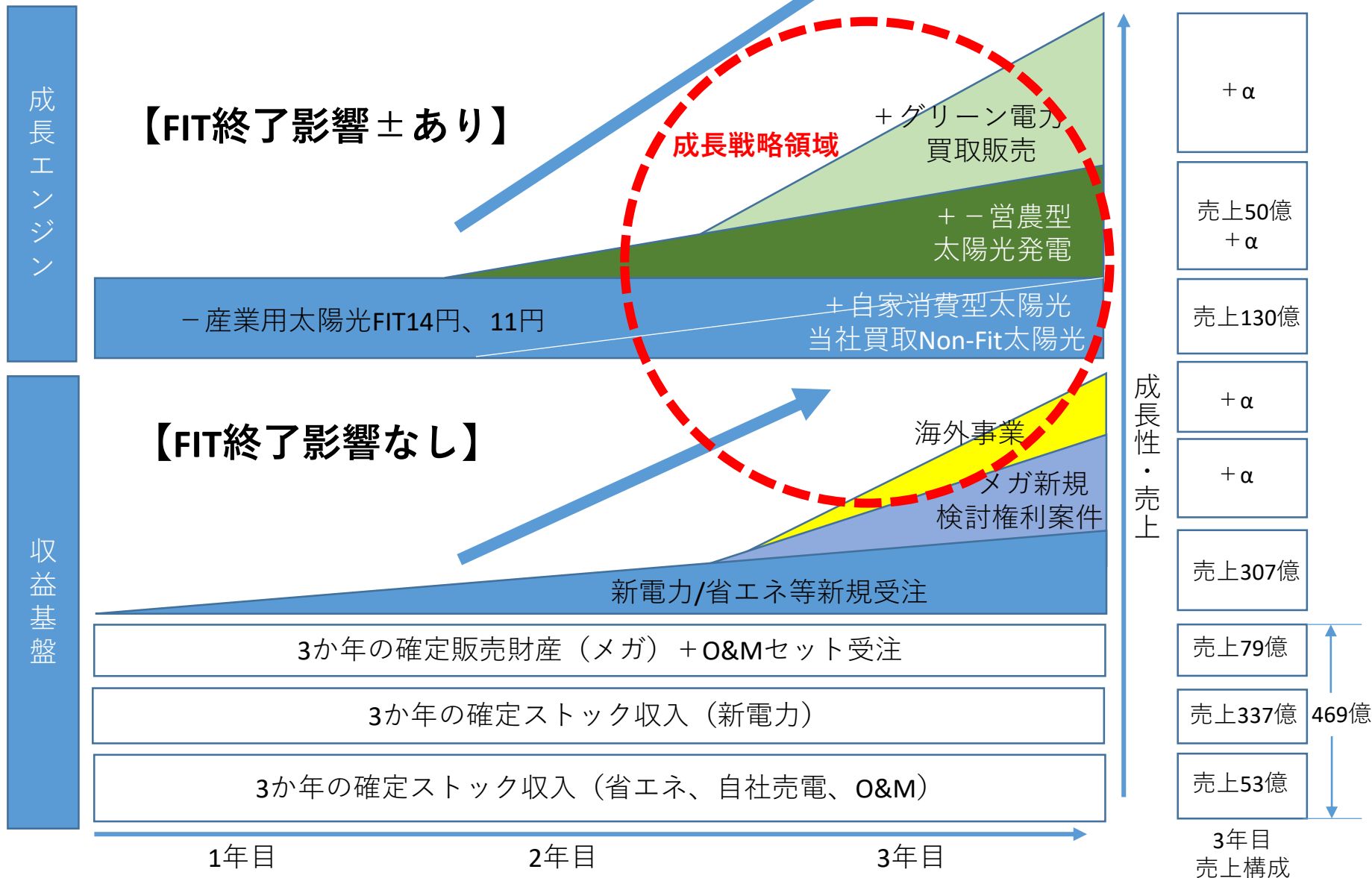
※2023年以降も含めた電力小売を除く省エネ、自社売電、メンテナンスの確定ストック累計売上は68,888百万円、粗利額は40,522百万円。

3か年投資原価

（単位：百万円）

	2019年8月期	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期
省エネ	4,837	4,253	3,622	2,979
自社売電	11,263	10,240	9,249	8,314
合計	16,100	14,493	12,871	11,293

今後のビジネスモデル（成長領域）



今後の成長戦略 「脱FITを見据えて」

再生可能エネルギーの社会の必要性が高まっている。

気候変動対策が、社会、経済にとって重要な課題
温暖化問題が年々深刻な状況に

異常気象：大雨、酷暑、台風



脱炭素社会の実現、CO₂排出ゼロ国家に向けて
グリーン電力の需要はますます拡大

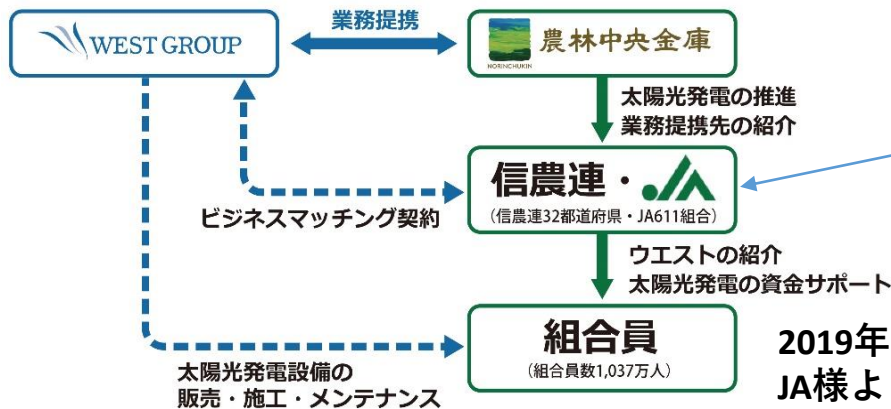
「たくさんの再エネ由来の電力を化石燃料由来同等のコスト
で日本に届けたい」



CAN-Japan資料

1. ソーラーシェアリング事業の拡大

2019年5月 農林中央金庫と業務提携
 組合員（農家）様の所得向上と未利用地の活用に向けて
 営農型太陽光を組合員様にご案内



JA様との
 BM契約数
19JA
 (正組合員数約17万人)
 契約数は順調に
 増加中

2019年8月～9月
 JA様よりご紹介頂いた農家様から営農型太陽光の契約受注
 紹介案件数も増大中。

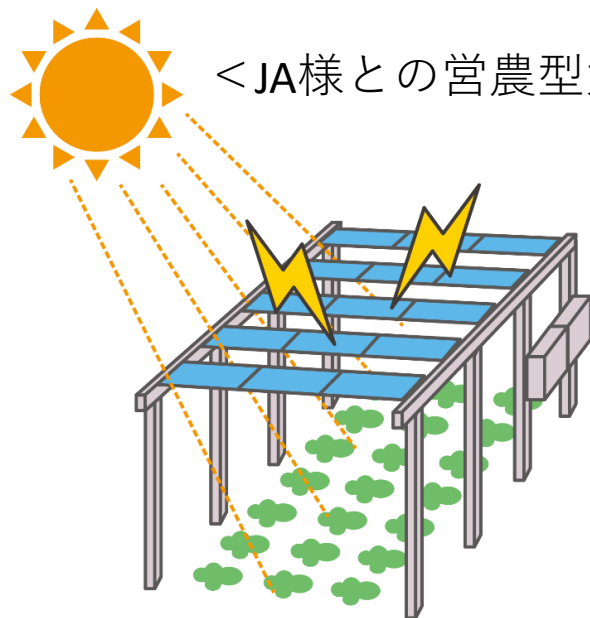


当社ソーラーシェアリング施工例

エリア	農地面積	種類	下部の農作物	太陽光パネル容量
四国	880㎡	野立て太陽光		60.48kw
四国	983㎡	野立て太陽光		79.38kw
四国	2,923㎡	ソーラーシェアリング	稲作	90.72kw
四国	1,872㎡	ソーラーシェアリング	稲作	46.62kw
関東	2,552㎡	ソーラーシェアリング	ニラ	75.60kw
関東	3,373㎡	ソーラーシェアリング	ニラ	90.72kw
四国	1,428㎡	野立て太陽光		64.26kw
関東	1,240㎡	ソーラーシェアリング	落花生	70.56kw

ソーラーシェアリング市場は今後大きく拡大していく見通し。

農家の所得向上、耕作放棄地の営農再開等、ウエストグループは、JA様との協働によりソーラーシェアリングを通じて農家様の所得の向上と地域農業の持続的発展、成長に貢献していきます。



<JA様との営農型太陽光発電の基本スキーム>



- ・発電事業者 = 農家様
- ・設備所有者 = 農家様
- ・設備設置資金 = JAバンク融資
- ・営農 = 農家様



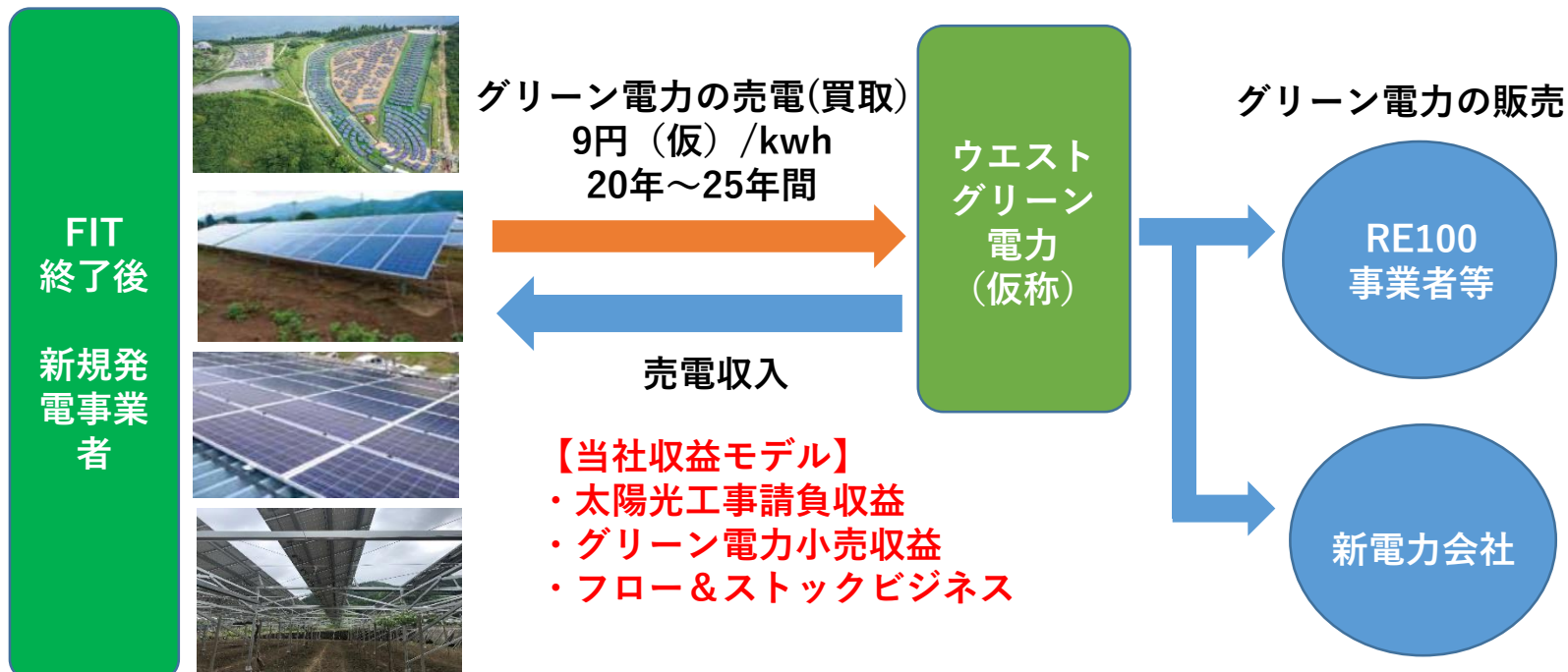
農業と太陽光のダブル収入

FIT14円 1,500㎡農地で
年間収入約130万円×20年
表面利回り9%前後

2. グリーン電力事業の展開

【グリーン電力買取モデル構想】 (Non-FITタイプ)

- ・ FIT終了後の当社による電力買取スキームで、2020年4月以降に新規で設置される発電所で作られた電気をウエスト電力にて買取。
- ・ 発電事業者は、FIT同様に売電収入を得ることが可能で売電期間は20年～25年を想定。
- ・ 買取りした電気は、再エネ由来のグリーン電力の需要家に対して販売。
- ・ 太陽光設置コストの更なる低減により、発電事業者にとって魅力ある投資利回りを確保。



従来の電力小売り事業に加えて、新たなグリーン電力専門の小売り事業。
グリーン電力の電源は、FIT終了後に当社がEPCで新規建設する太陽光発電所。

ウェストグループの SDGsの取組み



再生可能エネルギーと省エネでSDGsを推進する CoCoLoプロジェクト



環境価値化で得た収益は、
子育て支援や植林事業等へ
寄付



CoCoLoプロジェクトにご賛同いただいている地域の
金融機関様（五十音順敬称略）2019年8月末時点

- | | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

「J-クレジット制度」
を活用して
中小企業のCO2排出削減を
支援

ご賛同頂いた地銀様は、自行と
取引企業のSDGs推進と ESG融資
の拡大へ

子どもたちの未来づくりをサポート

カンボジアの小学校再建に協力



カンボジアの未来を担う生徒たちの学習環境の改善に寄与することを目的として、チャンバック小学校の再建と、太陽光発電システムの導入・設置を行いました。



子供食堂（子ども未来応援隊）



広島市楠木町で、毎週火曜日、食事付きの無料学習会「子供未来応援学習教室」を開催。放課後に楽しく過ごせる居場所を子どもたちに提供しています。



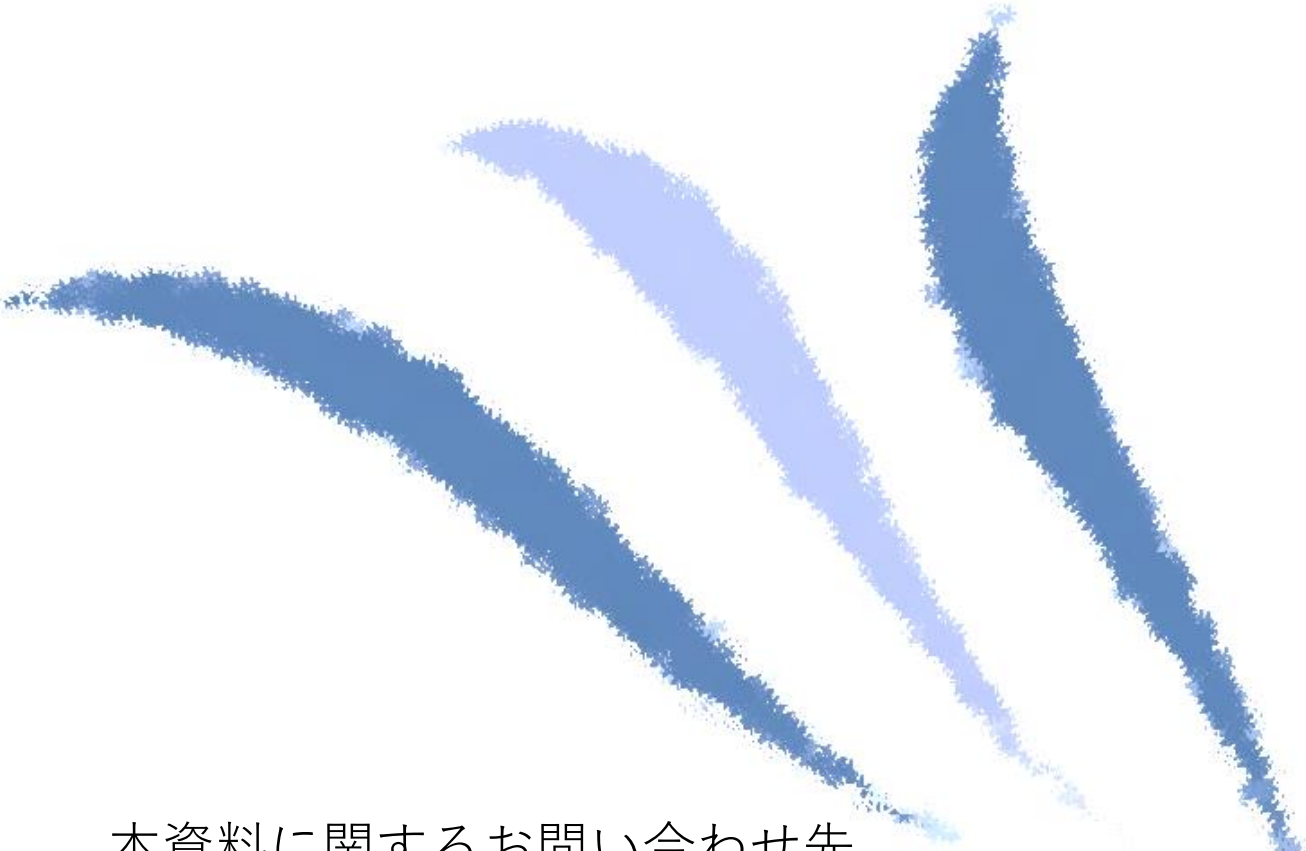
注意事項

本資料は弊社グループの企業情報などの提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、弊社の発行する株式その他有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、弊社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではなく、また、弊社はその内容を更新する義務を負うものではありません。

また、本資料に記載される弊社グループの計画、見通し、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における弊社の判断又は考えにすぎず、実際の弊社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギー政策、法令、制度、市場等の動向、弊社グループの事業に必要な許認可の状況、土地や発電設備等の取得・開発の成否、天候、気候、自然環境等の変動等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料の記載金額は、原則、連結数値を使用、百万円未満は切り捨てとしているため、各欄の合計値と合致しない場合があります。



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ウエストホールディングス
電話：03-5358-5757